

SONY

ビデオプロジェクター
VPL-VW100

めざしたのはリアルな空間表現

V P L - V W 1 0 0



●本カタログ掲載の価格には、配送・設置調整費・アンテナ・工事費、
使用済み商品の引き取り費などは含まれていません

SXRD
Silicon X-tal Reflective Display

家に「映画館」のあるライフスタイルを。
映像表現の理想に限りなく近づけた、VPL-VW100

からだごと引き込まれるようなリアリティー。繊細な肌の色やさまざまな赤の色彩。

漆黒の宇宙に輝く星の数や、その遠近までも描きだす表現力。

VPL-VW100は、映画の高品位な映像やハイビジョンの美しさだけでなく、

その映像を制作した者の思いまでも忠実に再現するために、

ソニーがこれまでに培ってきた技術と高度な最新の技術を惜しみなく投入しました。

フルスペック ハイビジョンの解像度と高速応答を実現する

ソニー独自のディスプレイデバイス「SXRDパネル」、映画館の映写機にも使用され

太陽光に近い光の特性を持つ「ピュア・キセノンランプ」、

最大15,000:1*の高コントラストを達成した新開発「アドバンスド アイリス」。

めざしたのは、大画面の高画質が描きだすリアルな空間表現。

映画館に迫る映像美と臨場感を、あなた自身で体感してください。

*アドバンスド アイリスオートモード選択時：プロジェクター本体の設定および入力する映像により変化します

新しい一日のはじまりね・・・



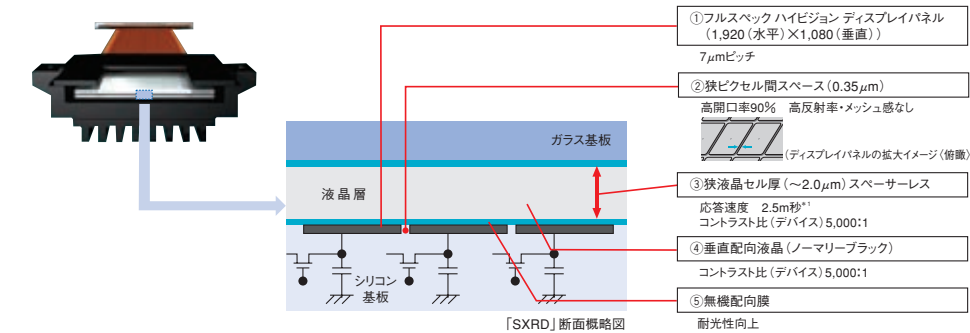
ビデオプロジェクター
VPL-VW100

希望小売価格1,365,000円(税抜価格1,300,000円)

リモートコンマnder RM-PJW100付属

SXRD **HDMI**

映画ならではの映像やハイビジョンの高画質を、ありのままに再現する。
新開発デバイス「SXRDパネル」



【「SXRDパネル」デバイス技術のポイント】

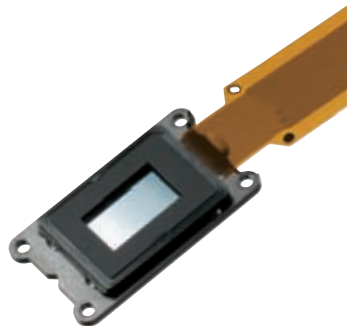
◎ソニー独自の液晶デバイス技術によって生まれたフルスペック ハイビジョン ディスプレイデバイス「SXRDパネル」

なめらかな質感。引き締まった黒。鮮やかな色彩。映画をはじめとする多彩な映像を美しく再現するために、「VPL-VW100」では、ソニーが独自に開発したフルスペック ハイビジョン ディスプレイデバイス「SXRD (Silicon X-tal* Reflective Display) パネル」を採用しました。独自の垂直配向液晶技術や高度なパネル化プロセス技術の確立により、高輝度はもちろん、高コントラスト、高速応答速度を達成。映画やデジタルハイビジョンなど、高画質映像を再現するために欠かせない機能を盛り込みました。

*「X-tal」は「crystal」の意味

◎フルスペック ハイビジョンの高解像度と大画面でもメッシュ感のないなめらかな映像を再現

「SXRDパネル」は、対角0.61型の小型のフルスペック ハイビジョンパネル (1,920 (水平) × 1,080 (垂直) 画素)。ハイビジョン放送の高精細な映像をそのまま表示します。また、それぞれの画素は0.35 μmの間隔で配置。大画面映像になるほど目につきやすいメッシュ感 (画素と画素の隙間による格子状の網目) をほとんど感じることはありません。



●SXRDパネル

◎動きの速いシーンもくっきりと描き出す2.5m秒*1の高速応答

スポーツ選手のスピーディーな動きやそのユニフォームの模様、質感までもくっきりと表現するために、「SXRDパネル」は業界最高水準*2の応答速度を達成しました。液晶ディスプレイデバイスでは、液晶セル厚が薄いほうが応答速度の高速化に有利。「SXRDパネル」では、シリコン駆動素子の平坦化技術、均一な配向膜の成膜技術、そしてセル厚の均一化のために必要なスペーサーを画面内に使用しないウェハー括重ねプロセスなどの技術を開発。これにより、厚さ2.0 μm以下を実現し、2.5m秒*1という高速応答を可能にしました。色彩の一瞬の変化や激しく変化する映像に素早く追従し、ブレの少ない鮮明な動画を表示します。

*1：上立り、立下りそれぞれにおいて *2：国内民生用液晶プロジェクターとして2005年11月ソニー調べ

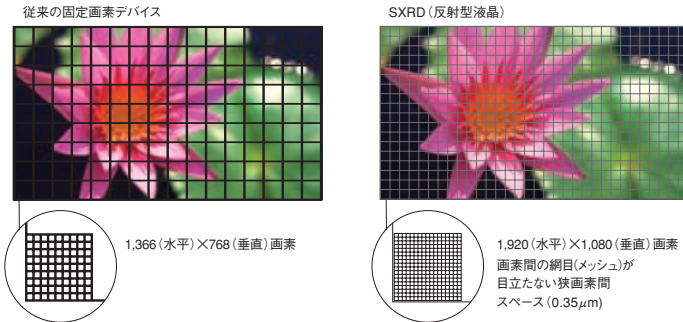


従来方式

【応答速度2.5m秒による効果のイメージ】



SXRD方式



【メッシュ感の比較画面イメージ】

太陽光に近い特性を持つ光源で、自然な色合いや質感を表現する。
「ピュア・キセノンランプ」



従来方式



ピュア・キセノンランプ

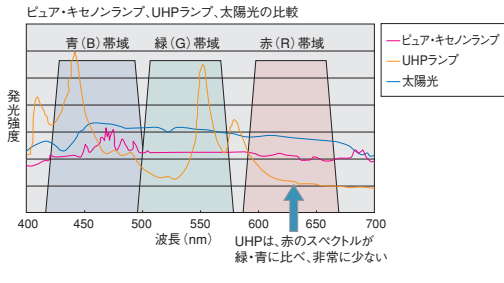
【ピュア・キセノンランプによる発色の比較イメージ】

◎太陽光に近い理想的な光源。映画館の映写機にも使用されている「ピュア・キセノンランプ」

輝くような赤、みずみずしい肌の質感、抜けのよい白など、自然でなめらかな色を再現する。このためには、プロジェクターの光源となるランプの性能が重要になります。液晶プロジェクターの標準的な光源であるUHPランプ (超高压水銀灯) は、3原色 (RGB) の発光強度に偏りがあり、赤 (R) の成分が青 (B) や緑 (G) に比べ弱く発光します (グラフ参照)。そのため、赤の発色が悪く、さまざまな色を自然な感じに表現しにくいという問題があります。「VPL-VW100」に搭載されたピュア・キセノン



●ピュア・キセノンランプ



※ランプの交換時間の目安は、約2,500時間です。約2,500時間は、常温にて通常使用した場合、明るさが約半減する時間の目安です。お客様の使用環境、使用条件によって交換時間が異なります。なお、上記推奨時間は、交換時間の目安であり、2,500時間使用可能であるという保証ではありません

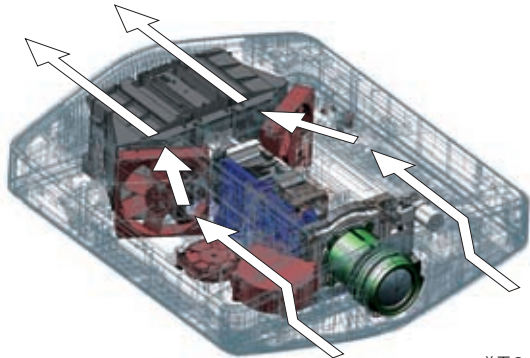
◎「ピュア・キセノンランプ」の発熱を効果的に冷却

400Wのピュア・キセノンランプは、太陽光に近い理想的な光源として高画質のために大切な役割を果たしていますが、一方で発熱量が多いので効率の良い冷却機構が不可欠です。「VPL-VW100」では、ランプを覆い隠すような大型ヒートシンクをはじめ、さまざまな冷却機構を採用。冷却風路を考慮した部品配置や独自設計のファンなど、綿密な試作と検証をくり返し、高効率な放熱・冷却機構を実現しました。

◎めざしたのは静音ではなく、静寂。業界最低レベル*1の「ファンノイズ約22dB*2」を実現

包み込まれるような大自然の映像、息をのむような重厚なサスペンスシーン。そんな静寂シーンで気になるのがプロジェクターのファンノイズです。「VPL-VW100」では、風切り音を低減したファンの開発に加えファンのシャフト (軸) が周囲のベアリングとほとんど接触しない独自の「ノンコンタクトメカニズム」を採用。また、本体には静音性に優れたアルミダイキャストシャーシや、空気循環に優れ熱冷却を効率的にする内部レイアウトなど、静音性を徹底して追求。これにより、人のささやき声よりも静かな業界最低レベル*1の約22dB*2を達成しました。

*1：国内民生用液晶プロジェクターとして2005年11月ソニー調べ *2：プロジェクター本体の設定および使用環境により異なります



前面の左右から取り入れた空気を、背面から機外へ。効率的な空気循環により、冷却効果を向上



●ソニー製 新開発静音ファン

高精細な映像にさらなる奥行きを与える「アドバンスト アイリス」と
その高画質な映像をそのまま投射する「ARC-F(オールレンジクリスプフォーカス)レンズ」



◎ 入力信号輝度レベルに合わせて最大15,000：1*のコントラストを実現する「アドバンスト アイリス」

映画の映像をプロジェクターで忠実に再現するためには、暗部での表現力が重要になります。「VPL-VW100」は、
入力された映像信号の輝度レベルに応じてランプから投射する光の量をアイリス(絞り)で自動制御する「アドバンスト
アイリス」を搭載。これにより、フルスペック ハイビジョン「SXRDPパネル」自体がもつ5,000：1というコントラスト
性能と相まって最大15,000：1*の高コントラスト比を実現。暗いシーンの多い映画では黒の階調を豊かに表現でき、
映像のディテールや奥行き感をリアルに表現します。また、画像のシーン全体の輝度を詳細に検出し、情報量を
配分するヒストグラム検出方式を新たに採用。

たとえば、暗闇にロウソクの火が出てくる
シーンなどでは、炎のゆらめきや、その周囲の
微妙な陰影、雲間気感までも描きだします。

*アドバンスト アイリスオートモード選択時：プロジェクター
本体の設定および入力する映像により変化します



●アドバンスト アイリスシャッターオフ(開く) ●アドバンスト アイリスシャッターオン(閉じる)

アドバンスト アイリス機構では、入力される映像信号の輝度レベルに応じてアイリス(絞り)のシャッター
を無段階に開閉。明るいシーンではシャッターを開き輝くような白を、暗いシーンでは閉じ暗く深い
黒を再現します。また、投射する環境に合わせてシャッターをオン(閉じる)／オフ(開く)／オート
(自動制御)のいずれかのモードに設定できます。

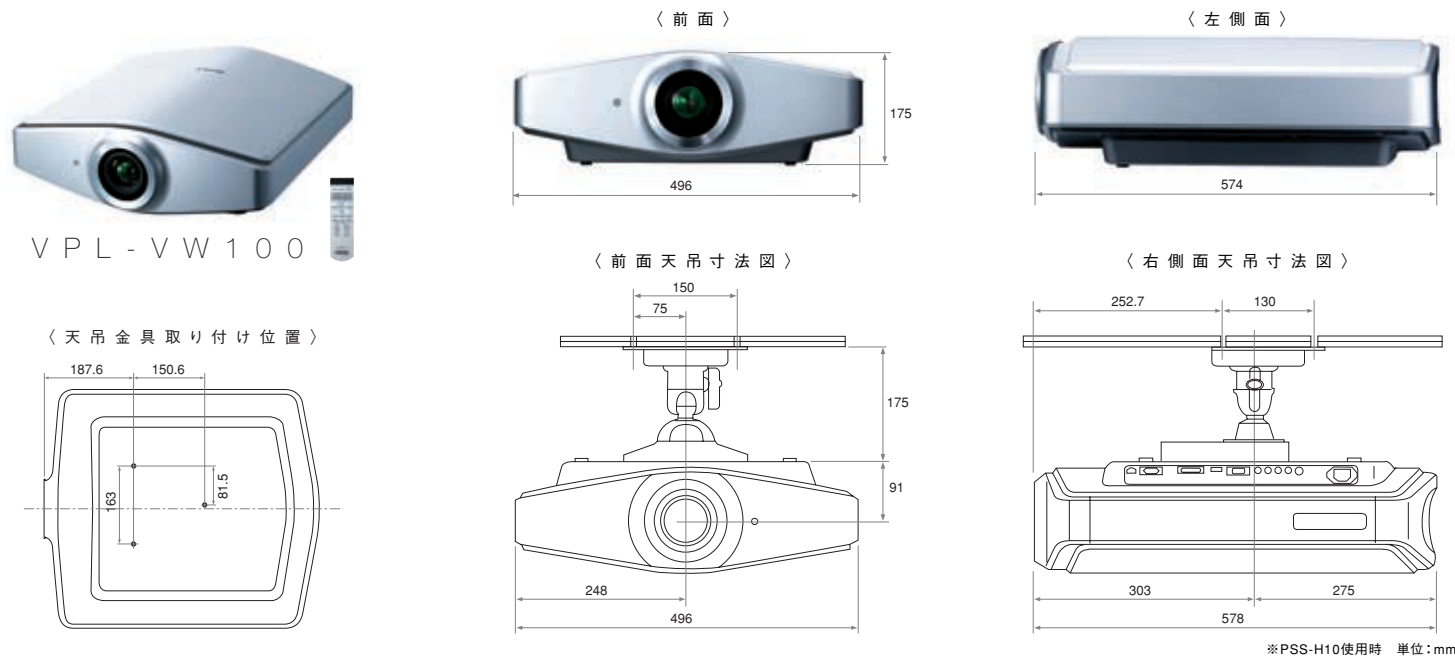
◎「SXRDPパネル」の解像度をそのままに、広い投射範囲を実現する「ARC-F(オールレンジクリスプフォーカス)レンズ」

投射レンズには、フルスペック ハイビジョン(1,920(水平)×1,080(垂直)
画素)映像の解像度をそのまま再現できる「ARC-F(オールレンジクリスプ
フォーカス)レンズ」を搭載。アルミの鏡筒に12群16枚のガラスレンズを
収納。すべてのガラスレンズに全面マルチ反射防止処理コーティングを
施し非常に高い透過率を実現。さらに、特殊低分散硝材を使用したレンズ
を採用することで、色にじみの少ない、きわめて鮮明な結像が得られます。

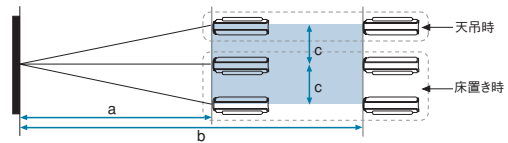
「SXRDPパネル」の7μmという小さな画素からの映像も忠実に解像して投射し、画面のすみずみまで鮮鋭度の
高い映像で再現します。また、1.8 倍のズームレンズにより、100型ワイド画面の場合、スクリーンからレンズの
投射距離が約3.0～5.4m の間などでの距離でも設置可能。「レンズシフト機構」と合わせて、さまざまな部屋で
フレキシブルに設置できます。



●ARC-Fレンズ



◎ 設置寸法図(標準搭載レンズ使用時)



a：スクリーンからプロジェクターのレンズ中心までの投射距離(最小)
b：スクリーンからプロジェクターのレンズ中心までの投射距離(最大)
c：上下レンズシフトを最大にしたときのスクリーン中心からプロジェクターのレンズ中心までの垂直距離
※左右のレンズシフトを使用したときの設置寸法図については、プロジェクターホームページをご覧ください

16:9時 スクリーンサイズ(型)	60	80	100	120	150	180	200
a～b	1,842～3,181	2,472～4,257	3,102～5,333	3,732～6,409	4,677～8,023	5,622～9,637	6,252～10,713
c	485	647	809	971	1,213	1,456	1,618

4:3時 スクリーンサイズ(型)	60	80	100	120	150	180	200
a～b	2,265～3,904	3,036～5,220	3,807～6,537	4,578～7,854	5,734～9,829	6,891～11,805	7,662～13,122
c	594	792	990	1,188	1,485	1,782	1,980

単位:mm

◎ アクセサリー



最大10,000：1*の高コントラストを実現。好みに合わせて細やかな色調整も可能なビデオプロジェクターVPL-HS60

ビデオプロジェクター
VPL-HS60
希望小売価格409,500円
(税抜価格390,000円)
リモートコマンダー RM-PJHS50付属



◎新開発「ハイコントラストプレート」搭載
ハイコントラストプレートとアドバンスト アイリスにより
最大10,000：1*の高コントラストを実現
◎デジタル720P入力信号をありのままに表示
デジタル720P信号入力時、オーバースキャンや解像度変換のない
入力信号をそのまま表示
◎「低ファンノイズ約23dB」を実現

◎「ARC-F(オールレンジ クリスプフォーカス)レンズ」
四隅のフォーカス性能に優れた、高倍率1.6倍・高解像度レンズ搭載
◎業界最大範囲の「レンズシフト機構」
垂直方向±1画面、水平方向±0.5画面の広範囲で調整可能
◎「RCP(リアルカラープロセッシング)機能」
ひとりひとりの記憶色に合わせた、色調整が可能
*アドバンスト アイリスオートモード選択時：プロジェクター本体の設定
および入力する映像により変化します

◎ V P L - V W 1 0 0 主 な 仕 様

光学系	
投影方式：	SXRDパネル・1レンズ、3原色光シャッター方式
LCDパネル：	0.61型SXRD (Silicon X-tal Reflective Display) パネル、約622万画素 (2,073,600画素×3枚)
レンズ：	1.8倍ズームレンズ(電動)、f18.7～33.7mm／F2.54～3.53
光源：	400Wキセノンランプ
スクリーンサイズ：	対角線40～300型
光出力*1：	800ルーメン(アドバンスト アイリスオートモード選択時)
コントラスト比：	最大15,000:1*2
電気系	
カラー方式*3：	NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60
入力対応信号：	対応コンピューター信号(水平19～72kHz、垂直48～92Hz)、対応ビデオ信号(15kHz RGB／コンポーネント50/60Hz)、プロGRESSIBコンポーネント50/60Hz、DTV(480/60i、575/50i、480/60P、575/50P、720/60P、720/50P、1080/60i、1080/50i)、1080/60P (DVI/HDMIチャンネルのみ)、1080/50P (DVI/HDMIチャンネルのみ)、コンボジットビデオ、Y/Cビデオ
接続端子	
映像入力：	ピン(コンボジット)×1、ミニDIN4ピン(S映像)×1、ピン(コンポーネント)×1(Y Cb (Pb) Cr (Pr))
デジタルRGB入力：	HDMI(デジタルRGB／Y Cb (Pb) Cr (Pr))×1、DVI-D (デジタルRGB)×1
PC入力：	D-sub15ピン×1
トリガー：	ミニジャック
リモート：	RS-232C:D-sub9ピン(凹)
ネットワーク：	RJ-45

一般／付属品

電源：	AC100～240V、50/60Hz
消費電力：	最大610W(待機時約10W／待機時エコモード約0.5W)
本体寸法：	496(幅)×175(高さ)×574(奥行)mm
本体質量：	約19kg
ファノイズ：	約22dB*4
付属品：	リモートコマンドーRM-PJWV100：1、プラグホルダー：1、ImageDirector2 CD-ROM：1、エアフィルターカバー：1、レンズキャップ他

*1：出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。

測定方法、測定条件については付属書2に基づいています

*2：アドバンスト アイリスオートモード選択時：プロジェクター本体の設定および入力する映像により変化します

*3：自動切り換え／手動切り換え(PAL60は自動切り換えのみ)

*4：プロジェクター本体の設定および使用環境により異なります

◎ 端 子 部



eco info ■待機時消費電力0.5W■はんだ付けに無鉛はんだを使用■キャビネットおよびプリント配線板にハロゲン系難燃剤を不使用■包装用緩衝材再生発泡スチロールを使用
※eco infoは、ソニーの環境配慮内容についての説明マークです



安全に関する注意

商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所や、熱器具などの近くに設置しないでください。火災、感電、故障などにより、死亡や大けがをすることがあります。プロジェクターは必ず転倒、落下防止の処置を行ってください。プロジェクターが倒れ、または落下してけがなどの原因となることがあります。

愛情点検

●長年使用のプロジェクターの点検を！



このような症状はありませんか

- スイッチを入れても映像や音がでない ●上下、または左右の映像が欠けて映る ●映像が時々、消えることがある●変なにおいがしたり、煙がでたりする ●スイッチを切っても、映像や音が消えない ●内部に水や異物が入った



使用を中止

コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください

プロジェクターを安全に使用するために ●裏布たははずしたり、セットの内部の改造をしないでください ●排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。ふさがないでください
液晶使用商品使用上の注意 ●液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられていますが、黒い点が現れたり、赤・青・緑の点が消えないという画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度や時間経過にしたがって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。これらは、液晶パネルの構造によるもので、故障ではありません
プロジェクター使用上の注意 ●ほこりの多い場所での使用は避けてください。また、空気の汚れが、プロジェクターに悪影響を与えることがあります。たばこの煙などが、プロジェクターに直接入らないようにご注意ください ●光源として使用されているランプは消耗品ですので、定期的な交換が必要です。使用時間の経過により映像が次第に暗くなり、最終的には不点灯状態になります(不点灯状態になる際、稀に音を伴う場合があります) ●VPL-HS60用のランプの中には水銀が含まれています。本機または使用済みランプを廃棄する際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください ●エアフィルターについて：プロジェクターの維持や故障を防ぐために、『フィルターを交換してください』というメッセージが出たら速やかにエアフィルターを交換してください。また、液晶プロジェクターは、フォーカスをばかすと、まれに異物が見える場合があります。これは液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません ●画面モード切り換え機能を備えているモデルで、テレビ番組などソフトの映像比率と異なる

るモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点に留意のうえ、画面モードをお選びください ●プロジェクターを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面モード切り換え機能などを利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります ●プロジェクターの表示画面は実際のものや絵、または写真と比較して色や形が異なることがあります
プロジェクター設置上の注意 ●プロジェクターの電源を入れた状態でAM放送の受信、レコードプレーヤーでの再生、カセットデッキでの録音や再生などをするると雑音が入ったり、誤作動を起こしたりします ●プロジェクターを市販のラックなどに置く場合は、画面のラックの耐荷重量を超えていないことをご確認ください
カタログ上の注意 ●掲載商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合があります ●スクリーンの型(100型など)はスクリーンの対角寸法を基準とした目安です ●SXRD、Cinezaおよび、そのロゴはソニー株式会社の商標です ●HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。●記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です
商品購入時の注意 ●「保証書」の記載事項を必ず確認のうえ、大切に保管してください ●当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打ち切り後8年保有しています

Sony Drive

www.sony.co.jp/SonyDrive

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
ソニーマーケティング株式会社 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

商品の取り扱い方法、買い物相談、その他のお問い合わせは

ソニーお客様ご相談センター

ナビダイヤル ☎ 0570-00-3311 (全国どこからでも市内料金でかけられます)

●携帯電話・PHS 03-5448-3311

●受付時間 月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00

※電話番号は間違いないように確認のうえ、おかけください

カタログ内容について、詳しく知りたい方は、近くのソニー商品販売店、またはお客様ご相談センターにお問い合わせください

お買い求めは当店へ

My Sony Card



www.sonyfinance-card.com

2005.12

カタログ記載内容2005年11月現在